

科目名	沖縄高専セミナー		英文表記		ONCT Seminar		平成25年2月28日	
科目コード	1016							
教員名:機械【山城(光)、鳥羽】、情報【杉本、兼城】、メディア【鈴木、玉城、ダンスリヤボン】、生物【田中、三宮、嶽本】							作成	
技術職員名:比嘉修、渡邊								
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科			1年	必	履修	2単位	講義	前期
科目目標	多角的視点と興味をもって積極的に授業に参加すること。							
総合評価	第1週目(ミニ概論)レポート(5%)、企業見学会レポート(10%)、各学科担当授業での評価(85%)を合計した点数(100点満点)により評価する。							
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	各学科の概要と施設見学会をとおして、専門分野の位置づけと考え方について理解を深める。			⇒	①ミニ概論レポート(5%)	5%	
	②	各専門学科に関連する身近な商品(工業製品)の考え方を学び、技術に対する幅広い興味と視点を醸成し、授業の位置づけと意義を理解する。			⇒	②各学科固有技術に関するレポート・発表(85%)	85%	
	③	企業見学(現地調査)を通じて県内主要企業の活動を理解する。			⇒	③企業見学レポート(10%)	10%	
	④	PBL授業を通じて自己学習力、発表能力を身につける。			⇒	④上記②に含む		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4				
		◎		○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目		0	5	85	10	100		
基礎的理解			5	50		55		
応用力(実践・専門・融合)				10		10		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)				10		10		
主体的・継続的学修意欲				15	10	25		
授業概要、方針、履修上の注意	各専門学科で学ぶ授業科目の構成と概要を理解する。 各専門学科に関連する身近な商品を分解(一部は組立)または解析しながら、その構造と構成技術を理解する。 各自が興味を感じた技術を調査し、その結果を発表する。 異分野を含めた沖縄県の企業を調査・見学し、社会構造と産業の実態を理解し、幅広い視野を育成する。(※各学級及び各学科同時開講方式)							
教科書・教材	各学科にて作成のテキスト、配布資料、電子ファイルなど							

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	全体ガイダンス(ミニ概論)	4	授業ガイダンスと各学科施設見学		
2	環境エネルギー問題と次世代技術 (機械システム工学科, 全3週6コマ)	4	機械技術の進歩・変遷について解説した後, 左記の授業項目を切り口に, 科学と技術の相関と両面性(明暗), そしてこれからの機械技術に何が求められているのか, 体験学習を交えて考察します。		
3		4			
4		4			
5	デジタルカメラの技術 (情報通信システム工学科, 全3週6コマ)	4	・授業の狙い, 従来カメラと情報機器としてのデジタルカメラの説明 ・デジタルカメラの構造と構成1(入力, 出力部)の講義、デジカメ実習 ・構成2(CPU, LSI, 画像処理部)の講義、技術調査、デジカメ実習 ・構成3(周辺装置)の講義, 新商品の仕様書作成, デジカメ実習 ・発表準備, 発表会, 講評		
6		4			
7		4			
8	第1回企業調査, 見学 レポート作成	4	授業内容に関連する企業の事前調査と見学を行い, レポートを提出。		
9	情報を伝える技術 (メディア情報工学科, 全3週6コマ)	4	・授業の狙いの説明 ・コンテンツ制作、コンピュータの構成、インターネットの仕組みなど情報を伝えるための最新技術を理解する。 ・レポート作成		
10		4			
11		4			
12	生物の実験と観察 (生物資源工学科, 全3週6コマ)	4	・授業の狙いの説明 ・顕微鏡でミクロの世界に潜入する ・高専内の植物を観察する(植物の形態・分類) ・実験と観察の計画と方法: 発表準備と発表		
13		4			
14		4			
15	第2回企業調査, 見学 レポート作成	4	授業内容に関連する企業の調査と見学を行い, レポートとして提出。		
期末	期末試験	[2]	期末試験は実施しません。		
16	後期は実施しません				
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①					
②					

③	
備考欄	